

発議第 3 号

安心して必要な介護が受けられるように制度の改善を求める意見書

上記の意見書を別紙のとおり提出します。

令和5年3月16日

提 出 者

八雲町議会議員 横 田 喜世志

賛 成 者

八雲町議会議員 佐 藤 智 子

八雲町議会議長 千 葉 隆 様

## 安心して必要な介護が受けられるように制度の改善を求める意見書

介護保険制度は2000年に「高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組み」として創設された。しかし、必要なサービスを利用できない実態が広がり、厚生労働省の雇用動向調査（2021年）によると約9.5万人が家族の介護を理由として離職しており、支援強化が緊急に求められている。

2024年の介護保険制度の改定に向け、厚生労働省の社会保障審議会は、介護事業団体などから強い反対があった「要介護1、2の生活援助サービスなどの地域支援事業への移行」「ケアプランの有料化」は、27年度からの第10期計画までに結論を出すと見送る一方で、23年夏までに「利用料2割負担の対象拡大」「一定所得を超える65歳以上の介護保険料引き上げ」について、23年度中に「老健施設などの多床室の有料化」についての結論を出すとしている。

65歳以上の介護保険料は、制度開始時の全国平均月額2,911円が2021年は6,000円超と倍以上に高騰している。これ以上の利用者への負担増加は、介護保険の利用に新たな困難をもたらし、介護サービスの利用控えにつながる懸念がある。

また、高齢化にともない介護需要が増加する一方で、職場の人手不足は深刻だ。行き届いた介護を実現するために、介護報酬の引き上げなどで介護従事者の処遇を改善することが必要である。

よって、必要な介護が受けられないような事態が起きないように、利用者負担の増加につながるような見直しはやめること、国の負担割合を引き上げて支援を強めること、介護職員の賃金引き上げなどの処遇改善を行うことなど、制度の抜本的改善を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年3月16日

北海道二海郡八雲町議会議長 千葉 隆

### 【提出先】

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣  
総務大臣